

兵庫県下の経済動向

平成29年3月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

【概 況】

最近の県内景気は、緩やかな回復基調を続けている。
個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、底堅く推移している。
また、設備投資は増加し、住宅投資は持ち直している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が6か月連続して前年実績を下回った。

乗用車販売は、4か月連続して前年実績を上回った。

家電販売は、緩やかに持ち直しつつある。

設備投資は、28年度は増加となる見込み。

住宅投資は、全体で2か月連続して前年を上回った。

公共工事請負金額は、神戸市、国で著増、独立行政法人等、兵庫県で大幅増、神戸市を除く市町で2桁増となるも、その他の団体で大幅減となった。

貿易は、輸出は、中国、EU、アジア、米国向けが増加したため12か月ぶりに前年を上回った。輸入は、EU向けが増加したが、米国、アジア、中国向けが減少したため2か月ぶりに前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を下回った。

雇用関係では、新規求人数、有効求人倍率ともに前年を上回った。

また、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年を上回ったが、所定外労働時間は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を下回った。

兵庫C I 及び兵庫D I から見た県内の景気動向

12月の兵庫C Iは、先行指数108.6、一致指数108.3、遅行指数94.1となった。

12月の兵庫D Iは、先行指数71.4%、一致指数25.0%、遅行指数50.0%となった。

兵庫C Iは、先行指数は2か月連続で前月差増、一致指数は2か月連続で前月差増、遅行指数は3か月連続で前月差減となった。

一方、兵庫D Iは、先行指数が2か月ぶりに50%を上回った。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、悪化を示している。」としている。

*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

1月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は94.0、前月比4.9%減。出荷指数は93.7、同5.4%減。在庫指数は107.0、同2.3%増。在庫率は123.0、同18.2%増。生産指数は2か月ぶりに減少、出荷指数は2か月連続で減少、在庫指数は3か月連続で減少した。

前年同月比(原指数)では、生産は前年同月比0.6%減で2か月ぶりに減少、出荷は同0.1%減で2か月連続で減少、在庫は同0.8%減で3か月連続で減少した。

主要業種の生産動向を対前月比で見ると、「鉄鋼業」(鋼半製品等)が3.8%、「金属製品工業」(粉末や金製機械材料等)が3.7%、「情報通信機械工業」(携帯電話等)が1.5%、「輸送機械工業」(旅客車等)が0.9%各々増加し、「食料品工業」(ビール類等)が2.9%、「窯業・土石製品工業」(ガラス製容器類等)が3.2%、「電気機械工業」(開閉制御装置等)が4.1%、「化学工業」(水系合成樹脂塗料等)が5.7%、「はん用・生産用・業務用機械工業」(機械式駐車装置等)が13.5%各々下落した。

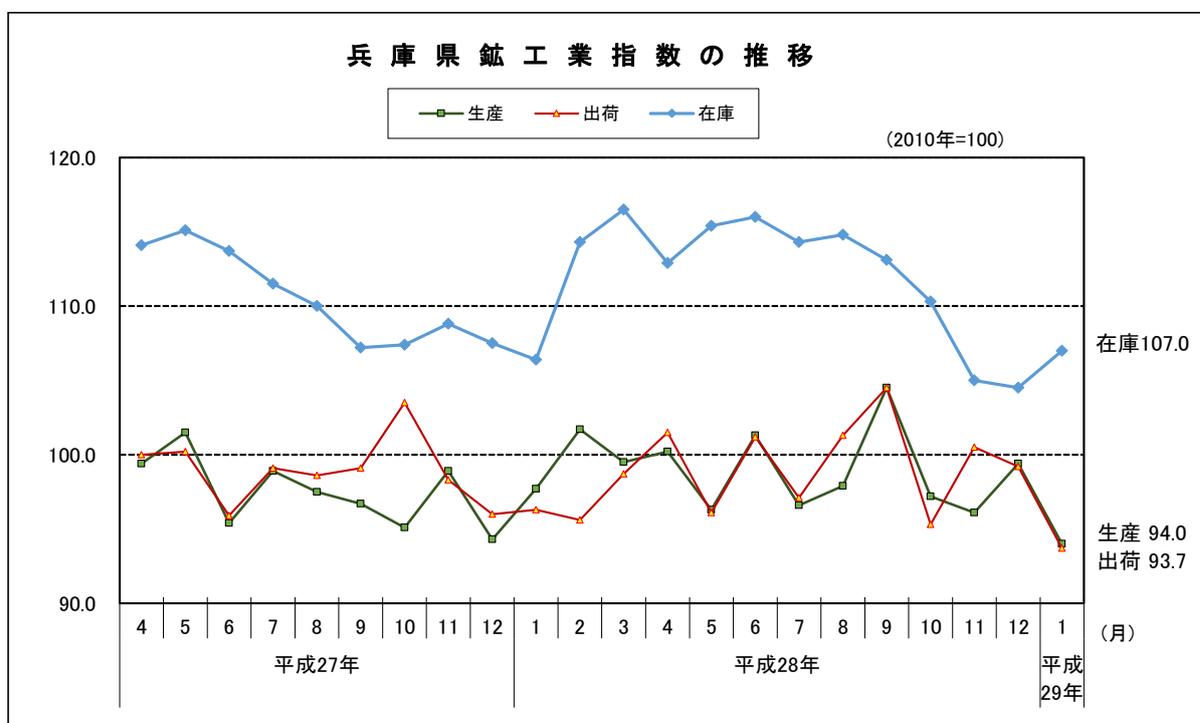
県統計課は、基調判断を「一進一退で推移している。」とした。

1月の兵庫県鉱工業指数

(速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	94.0	▲ 4.9	89.0	▲ 0.6
出 荷	93.7	▲ 5.4	87.6	▲ 0.1
在 庫	107.0	2.3	109.2	▲ 0.8
在 庫 率	123.0	18.2	131.5	▲ 1.8

資料：兵庫県企画県民部統計課



1月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼業	98.1	3.8	上昇	鋼半製品、粗鋼、H形鋼、銑鉄
			低下	その他の金属めっき鋼板、亜鉛めっき鋼板、ブリキ、鋳鉄管
金属製品 工業	89.3	3.7	上昇	粉末や金製機械材料、PC鋼より線、ねじり棒ばね、機械刃物
			低下	ガス風呂がま、超硬チップ、ガス温風暖房機、ガス温水給湯暖房機
はん用・生産 用・業務用 機械工業	78.4	▲13.5	上昇	一般用蒸気タービン、ショベル系掘削機械、建設用クレーン、トンネル掘進機
			低下	機械式駐車装置、蒸気タービン部品、はん用内燃機関、圧縮機
電気機械 工業	127.9	▲4.1	上昇	電力変換装置、リチウムイオン蓄電池、工業用計測制御機器、避雷装置
			低下	開閉制御装置、一般用タービン発電機、電気がま、超音波応用装置
情報通信 機械工業	129.6	1.5	上昇	携帯電話、ノート型パソコン、搬送装置、無線位置測定装置
			低下	固定通信装置、テレメータ・テレコントロール、レーダ装置、カーオーディオ
輸送機械 工業	105.8	0.9	上昇	旅客車、特殊自動車、特装ボデー、シャシー・車体部品
			低下	発動機部品、船用ディーゼル機関、内燃機関電装品、機体部品
窯業・土石 製品工業	104.6	▲3.2	上昇	道路用コンクリート製品、不定形耐火物、セメント、せっこうボード
			低下	ガラス製容器類、複層ガラス、ファインセラミックス(構造物材)、ほうろう鉄器製品
化学工業	106.3	▲5.7	上昇	化粧品、酸化チタン、エポキシ樹脂、自動車排気ガス浄化用触媒
			低下	水系合成樹脂塗料、医薬品、アクリル酸エステル、溶剤系合成樹脂塗料
食料品工業	87.7	▲2.9	上昇	アイスクリーム、肉製品、冷凍調理食品、牛乳
			低下	ビール類、配合飼料、清酒、しょうゆ

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた2月の県内百貨店売上高は、前年同月比4.1%減の132億3,847万円で、7か月連続で前年実績を下回った。

前年がうるう年で、今年は営業日数が1日減ったことが影響した。売上高構成比で最多を占める「衣料品」は、月前半の気温低下で婦人服の春物の動きが鈍かったことなどから6.9%減少。次いで構成比が高い「食料品」は、バレンタイン商戦が堅調で菓子が1.4%増えたが、生鮮食品や総菜の減少幅が大きかった。一方、化粧品や宝石、貴金属などは底堅く、雑貨は1.3%増加した。

地区別では神戸地区が4.8%減、姫路・加古川地区が0.1%減だった。

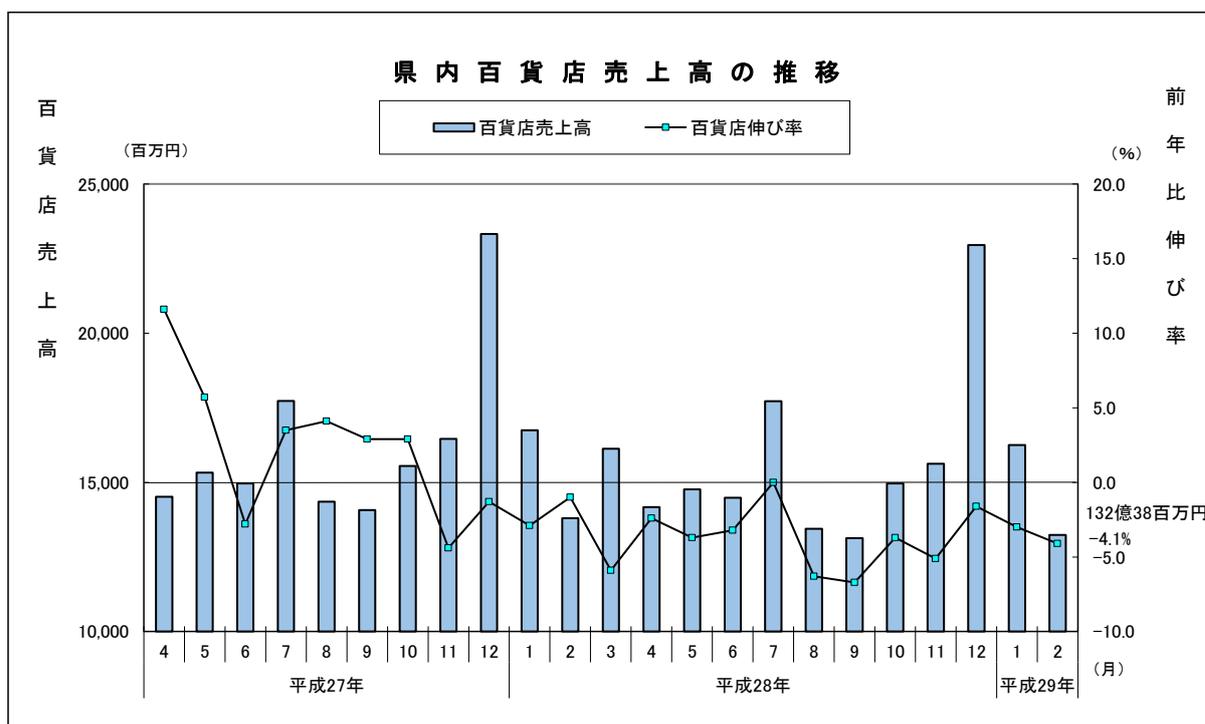
2月の県内百貨店売上高

品 目	地 区		
	神 戸	姫路・加古川	合 計
紳士服・洋品	476(0.2)	115(▲ 3.5)	591(▲ 0.5)
婦人服・洋品	3,123(▲ 9.1)	409(▲ 2.2)	3,532(▲ 8.4)
子供服・洋品	249(▲ 3.5)	59(3.0)	309(▲ 2.3)
身の回り品	885(▲ 4.5)	195(0.2)	1,081(▲ 3.7)
雑 貨	2,002(1.7)	344(▲ 1.1)	2,346(1.3)
家 庭 用 品	387(▲11.1)	104(4.0)	491(▲ 8.2)
食 料 品	3,390(▲ 4.8)	758(0.9)	4,148(▲ 3.8)
そ の 他	515(▲ 2.3)	220(0.8)	735(▲ 1.4)
計	11,030(▲ 4.8)	2,207(▲ 0.1)	13,238(▲ 4.1)

※ 単位百万円、百万円未満切捨て。()内は、前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内2月の乗用車新車登録台数は17,070台、前年同月比7.8%増と5か月連続して前年同月の実績を上回った。

2月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は6,557台(前年同月比9.5%増)、小型乗用車は4,975台(同13.0%増)、軽乗用車は5,538台(同1.7%増)、乗用車合計で17,070台(同7.8%増)となった。

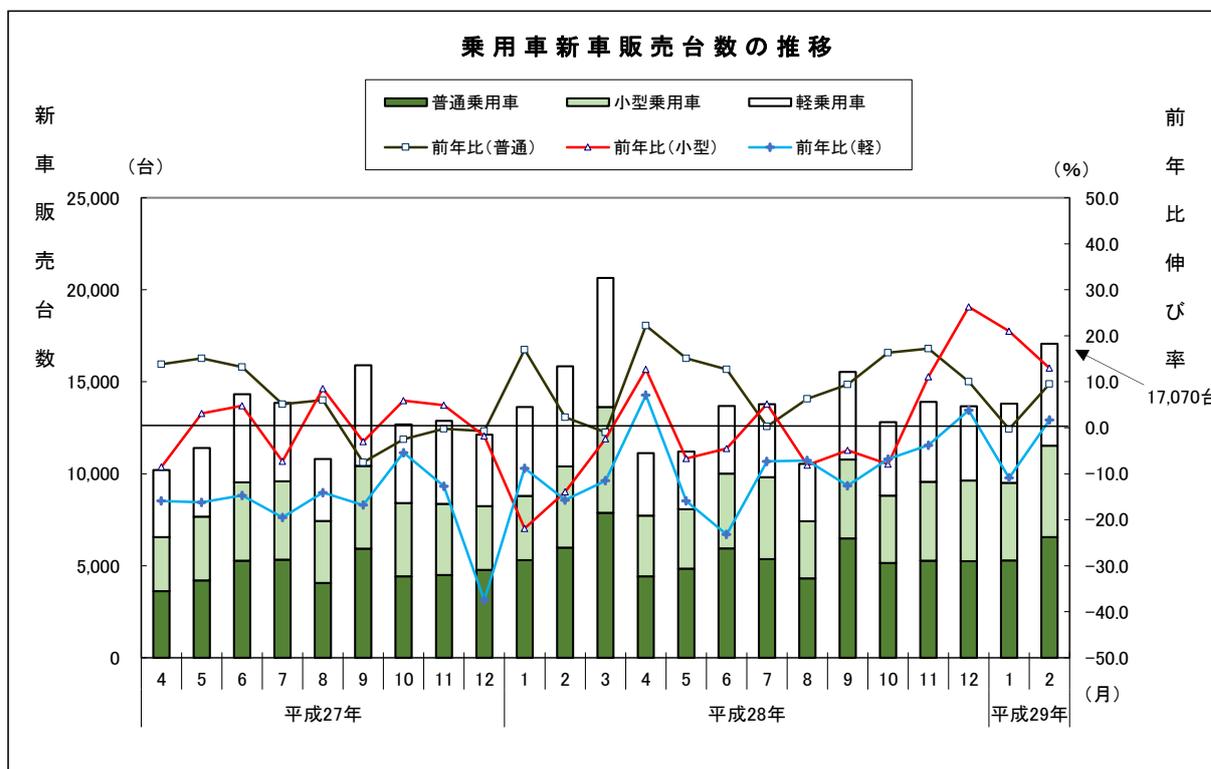
また貨物車等では、普通貨物車は393台(前年同月比12.3%増)、小型貨物車は684台(同3.7%増)、軽貨物車は1,349台(同5.7%増)、バスは56台(同6.7%減)となった。

2月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	6,557	9.5	143,839	9.3
小型乗用車	4,975	13.0	130,021	20.6
軽乗用車	5,538	1.7	139,452	▲ 2.3
乗用車合計	17,070	7.8	413,312	8.2
普通貨物車	393	12.3	14,146	3.2
小型貨物車	684	▲ 3.7	22,619	9.3
軽貨物車	1,349	5.7	33,234	▲ 0.7
貨物車合計	2,426	3.9	69,999	3.2
バス	56	▲ 6.7	1,410	3.5
登録車総計	19,552	7.2	484,721	7.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が3月13日に発表した機械受注統計によると、平成29年1月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成28年12月前月比4.4%減の後、1月は同10.0%減の2兆2,369億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、12月前月比2.1%増の後、1月は同3.2%減の8,379億円となった。

内訳をみると、製造業は同10.8%減の3,309億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同0.7%増の5,076億円であった。

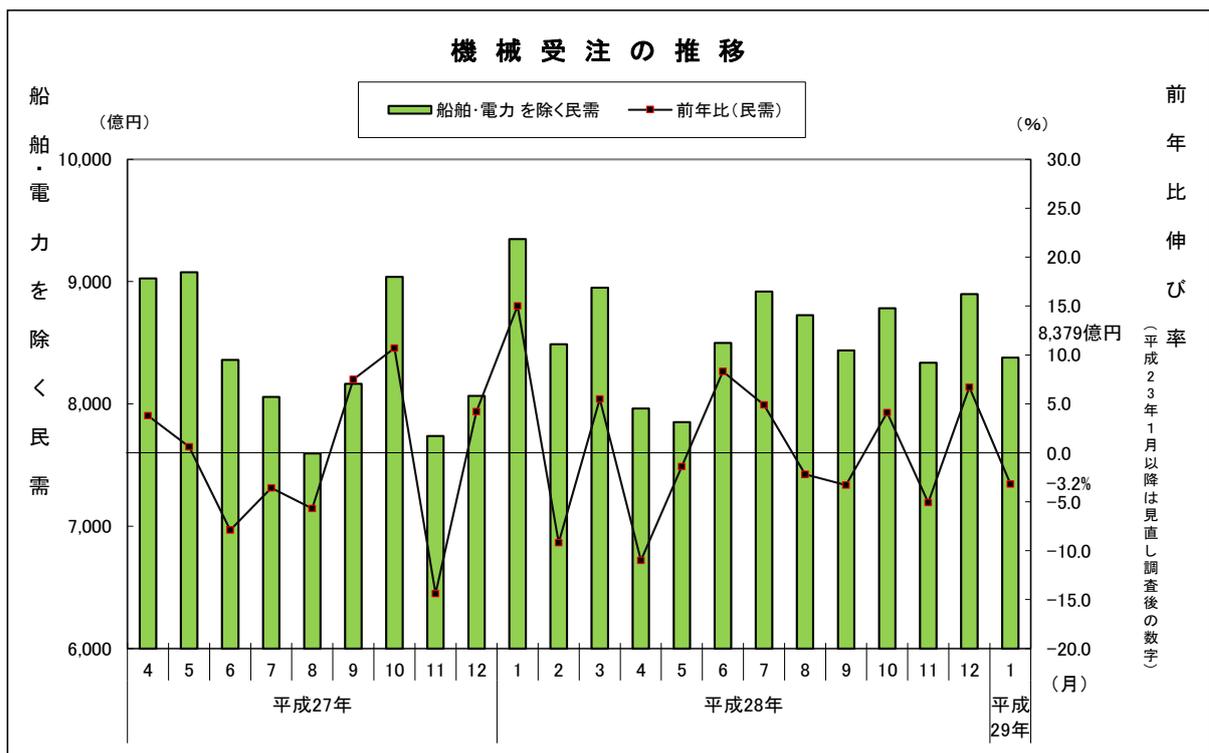
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、金属製品(56.5%増)、電気機械(44.0%増)、造船業(24.7%増)、繊維工業(24.2%増)、情報通信機械(16.1%増)、業務用機械(9.7%増)、「その他製造業」(7.8%増)、その他輸送用機械(5.2%増)、自動車・同付属品(1.5%増)等の9業種で、はん用・生産用機械(4.2%減)、鉄鋼業(10.3%減)、食品製造業(22.0%減)、パルプ・紙・紙加工品(23.6%減)、化学工業(27.9%減)、石油製品・石炭製品(59.1%減)、窯業・土石製品(61.4%減)、非鉄金属(84.5%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(85.4%増)、金融業・保険業(57.3%増)、情報サービス業(11.3%増)、建設業(4.9%増)、通信業(2.2%増)等の5業種で、「その他非製造業」(11.1%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(17.9%減)、農林漁業(20.6%減)、リース業(29.4%減)、卸売業・小売業(31.3%減)、運輸業・郵便業(33.7%減)、電力業(38.8%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2016年度設備投資額は、非製造業が減少計画の一方、製造業が増加計画であることから、全産業では増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2016年12月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比-7.7% (製造業-6.6%、非製造業-12.3%)



機 械 受 注 統 計 (平成 29 年 1 月分)

	2016年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	2017年 1～3月 見通し	2016年 10月 実績	11月 実績	12月 実績	2017年 1月 実績
受注総額	69,334 (5.9) [-2.5]	64,685 (-5.3) [-9.6]	63,964 (-1.1) [-9.0]	72,530 (13.4) [0.8]	67,582 (-6.8) [-4.1]	21,699 (2.8) [-21.1]	25,990 (19.8) [16.0]	24,840 (-4.4) [10.7]	22,369 (-10.0) [8.6]
民 需	33,490 (6.2) [4.5]	29,645 (-11.5) [-6.1]	30,395 (2.5) [0.9]	33,701 (10.9) [7.3]	33,874 (0.5) [-1.3]	10,426 (5.2) [-15.8]	11,266 (8.1) [16.7]	12,009 (6.6) [21.9]	9,220 (-23.2) [-11.3]
〃 (Ex 船・電)	26,099 (4.2) [3.4]	24,418 (-6.4) [-6.5]	25,771 (5.5) [6.5]	25,859 (0.3) [3.6]	26,235 (1.5) [1.7]	8,721 (3.4) [-5.6]	8,478 (-2.8) [10.4]	8,660 (2.1) [6.7]	8,379 (-3.2) [-8.2]
製 造 業	11,284 (7.7) [4.3]	10,321 (-8.5) [-12.9]	10,520 (1.9) [-0.5]	10,800 (2.7) [3.5]	11,847 (9.7) [5.7]	3,405 (0.4) [-9.0]	3,683 (8.1) [8.3]	3,711 (0.8) [10.9]	3,309 (-10.8) [-22.0]
非製造業 (Ex 船・電)	14,988 (2.7) [2.6]	14,462 (-3.5) [-1.0]	15,353 (6.2) [11.8]	15,202 (-1.0) [3.3]	14,694 (-3.3) [-1.1]	5,227 (2.7) [-3.9]	4,935 (-5.6) [11.6]	5,040 (2.1) [3.5]	5,076 (0.7) [5.7]
官 公 需	8,055 (29.6) [18.6]	7,028 (-12.8) [-14.6]	7,610 (8.3) [-6.4]	8,639 (13.5) [37.8]	8,892 (2.9) [-7.6]	2,661 (10.7) [31.2]	3,032 (13.9) [58.3]	2,945 (-2.9) [30.5]	3,546 (20.4) [64.1]
外 需	23,570 (-23.2) [-18.8]	25,157 (6.7) [-13.6]	23,000 (-8.6) [-21.7]	26,571 (15.5) [-12.9]	22,329 (-16.0) [-3.6]	8,343 (7.1) [-35.3]	9,699 (16.3) [9.7]	8,529 (-12.1) [-5.9]	8,806 (3.2) [25.9]
代 理 店	3,528 (5.2) [17.3]	3,287 (-6.8) [6.3]	3,533 (7.5) [10.1]	3,529 (-0.1) [4.8]	3,457 (-2.0) [-1.2]	1,132 (-6.3) [-0.7]	1,191 (5.3) [5.7]	1,205 (1.2) [9.4]	1,080 (-10.4) [-6.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内1月の新設住宅着工総数は3,297戸(前年同月比6.0%増)となり前年を上回り、前月比では427戸の増加となった。

また、利用関係別では「持家」が858戸(前年同月比18.5%増)、「貸家」が1,119戸(同25.7%増)、「分譲住宅」が1,319戸(同4.8%減)となった。

1月の新設住宅着工戸数 (速報、単位：戸、%)

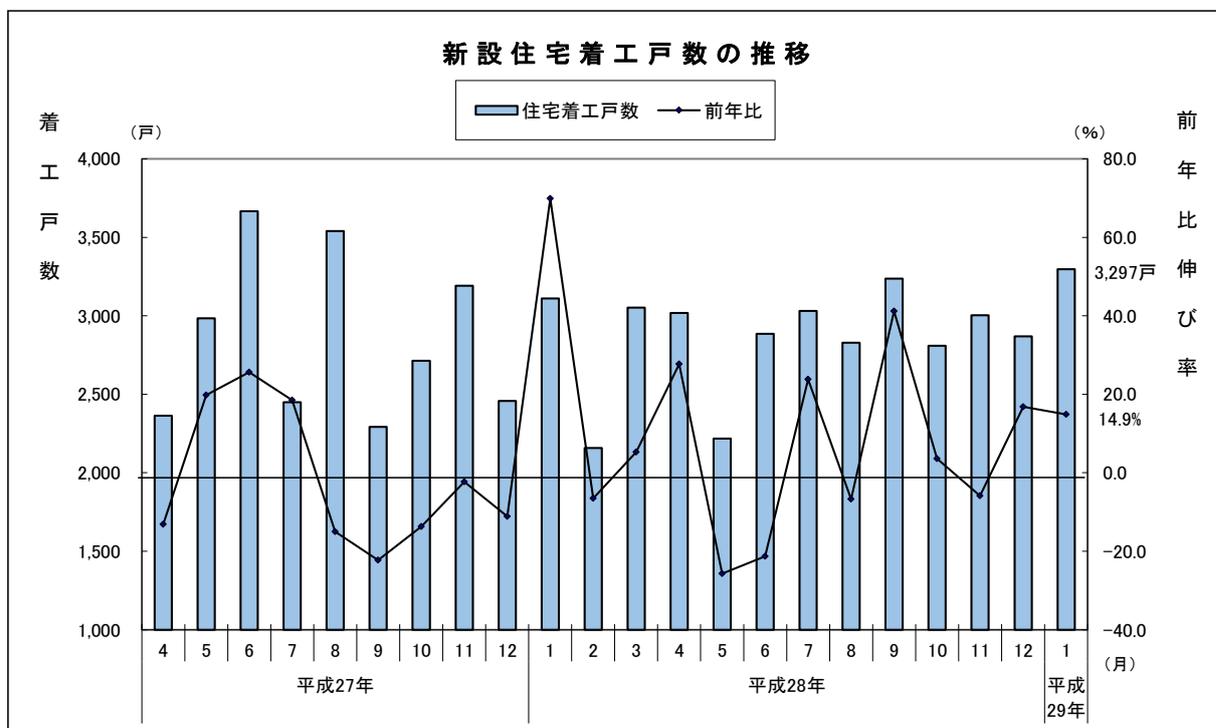
	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	858	18.5	20,228	▲ 0.2
・分譲住宅	1,319	▲ 4.8	24,061	27.3
貸家系・貸家	1,119	25.7	31,684	12.0
・給与住宅	1	0.9	518	43.9
総数	3,297	6.0	76,491	12.8

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

1月の地域別着工戸数 (単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,342	478	254	645	130	238	63	12	66	69	3,297
前月比	146.2	-33.4	-24.9	7.9	64.6	-46.4	-19.2	-66.7	1,000.0	146.4	14.9

資料：兵庫県住宅政策課



【公共工事】

2月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は231件で前年同月比17.3%の増加、請負金額は151億85百万円で前年同月比56.4%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比16.7%の減少となったが、「国」同157.1%、「神戸市」同27.3%、「兵庫県」同25.0%、「神戸市を除く市町」同0.0%、「その他の団体」同0.0%の増加となったため、前年同月比17.3%の増加となった。

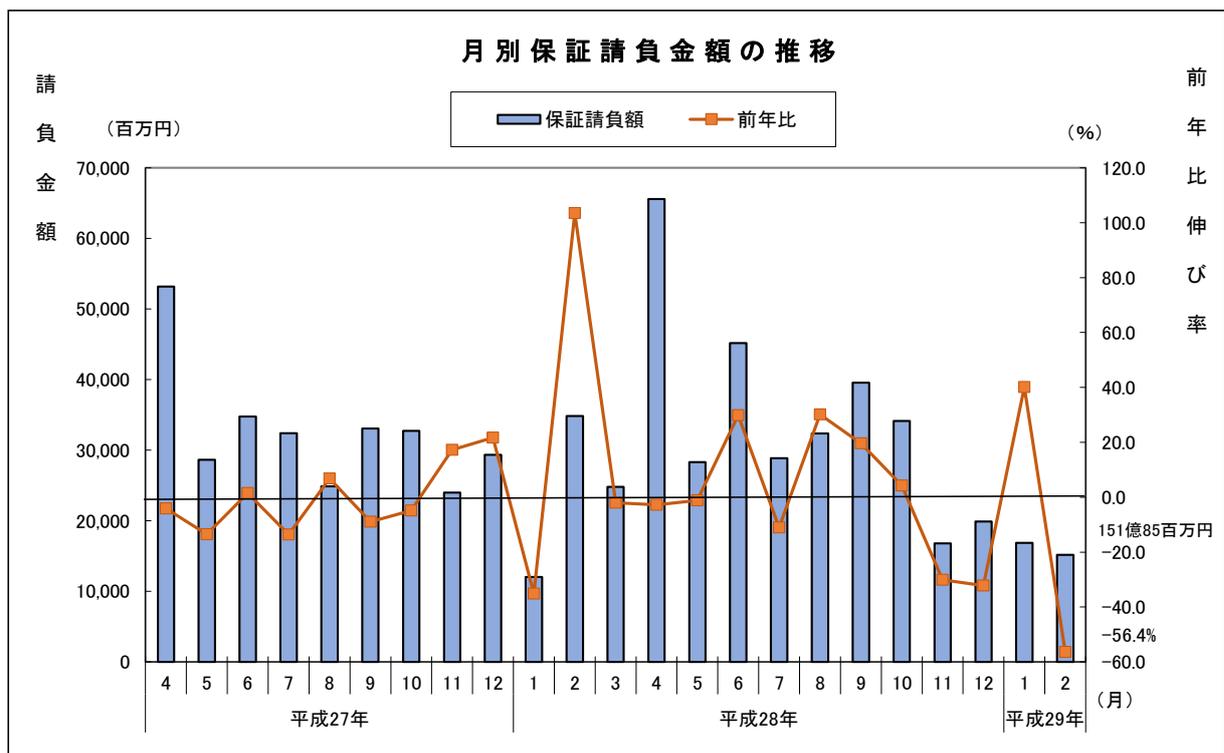
地域別(金額ベース)では、東播磨(前年同月比14.3%減)、丹波(同15.4%減)、阪神北(同18.2%減)が減少したが、阪神南(同128.6%増)、但馬(同68.8%増)、西播磨(同60.0%増)、神戸市(同30.4%増)、淡路(同12.5%増)、中播磨(同5.9%増)、北播磨(同4.5%増)が増加したため、前年同月比17.3%の増加となった。

2月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	18(157.1)	2,297(104.0)	
独立行政法人等	10(▲16.7)	1,098(20.8)	28-ポートアイランド50号棟他4棟外壁その他修繕工事
兵庫県	80(25.0)	3,589(20.0)	県住第34号県営姫路書写住宅建築工事
神戸市	42(27.3)	5,150(451.2)	27C6-008 西部処理場高段ポンプ棟他築造工事(土木)他1件
神戸市を除く市町	70(0.0)	2,386(15.5)	公共下水道新設(合流貯留管整備その2)工事
その他の団体	11(0.0)	662(▲97.5)	六項北有料道路(神戸北インター～大沢インター)道路改良工事
合計	231(17.3)	16,858(▲56.4)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成29年2月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,013億円、前年同月比4.5%の増加で、総額ベースで17か月ぶりに増加となった。輸出は加熱用・冷却用機器などが減少したものの、原動機、半導体等製造装置などが増加した。一方、輸入は医薬品などが増加したものの、原動機、衣類及び同附属品などが減少した。

輸出は4,820億円(前年同月比11.4%増)と12か月ぶりに増加した。

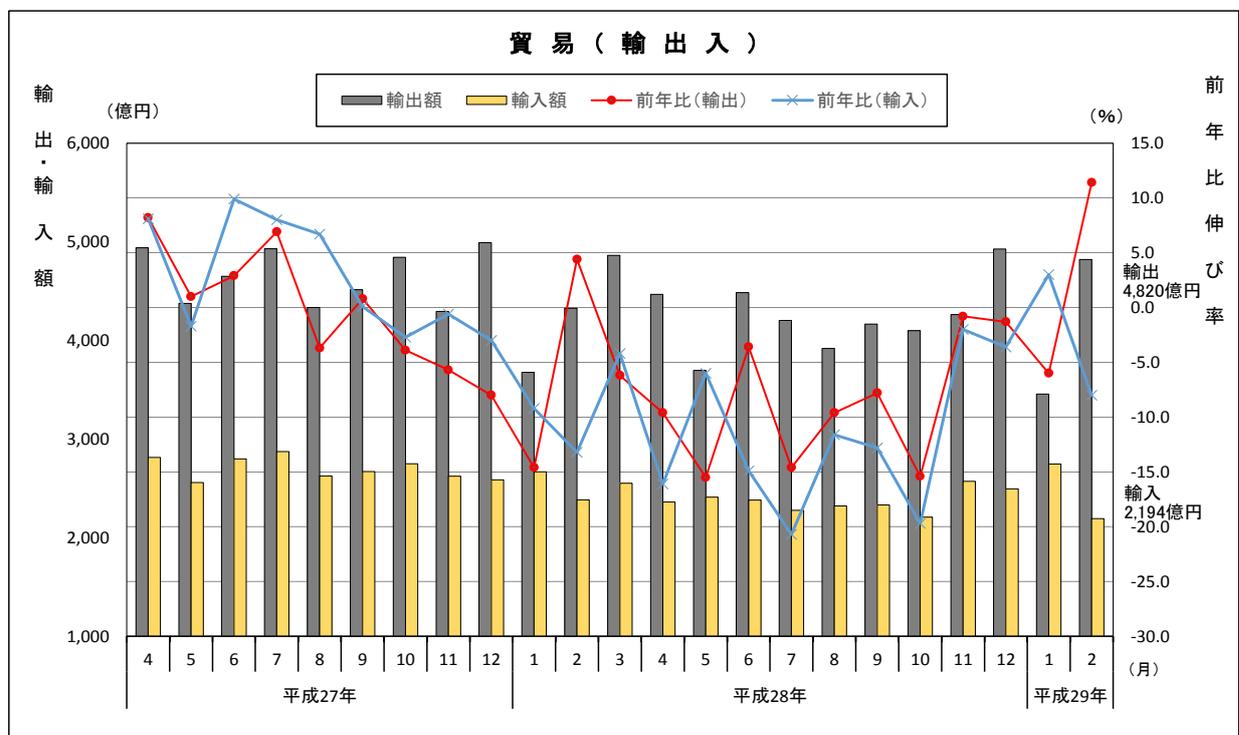
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比6.8%減、12か月連続マイナス)が減少したものの、原動機(同73.6%増、2か月連続プラス)、プラスチック(同10.5%増、2か月ぶりにプラス)、建設用・鉱山用機械(同10.3%増、2か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比26.2%増、3か月連続プラス)、EU(同15.8%増、8か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同15.0%増、2か月ぶりにプラス)、米国(同11.2%増、8か月ぶりにプラス)が増加した。

輸入は2,194億円(前年同月比8.0%減)と2か月ぶりに減少した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比26.4%増、4か月連続プラス)、たばこ(同2.3%増、2か月連続プラス)が増加したものの、有機化合物(同20.9%減、3か月ぶりにマイナス)、衣類及び同附属品(同24.3%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比6.2%増、2か月ぶりにプラス)が増加したものの、米国(同0.5%減、4か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同21.3%減、2か月ぶりにマイナス)、中国(同32.0%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

2月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.8(2015年=100)となり、前月比0.3%の減少、前年同月比は0.3%の減少となった。生鮮食品を除く総合指数は99.7となり、前月比0.2%の減少、前年同月比0.4%の減少となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は100.3となり、前月比0.2%の減少、前年同月比0.2%の減少となった。

前月からの動きを見ると、ガス代などの増加により「光熱・水道」が0.8%、身の回り用品などの増加により「諸雑費」が0.4%、補習教育の増加により「教育」が0.2%増加した。

しかし、野菜・海藻などの減少により「食料」が0.4%、設備修繕・維持の減少により「住居」が0.4%、通信などの減少により「交通・通信」が0.5%、家庭用耐久財などの減少により「家具・家事用品」が1.6%、教養娯楽用品の減少により「教養娯楽」が0.4%、医薬品・健康保持用摂取品の減少により「保健医療」が0.1%減少した結果、総合指数では0.3%の減少となった。

2月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合
指数	99.8	101.4	100.4	91.7	99.0	99.5	99.9	98.1	101.5	99.5	101.6	99.7	100.3
前月比	▲0.3	▲0.4	▲0.4	0.8	▲1.6	0.0	▲0.1	▲0.5	0.2	▲0.4	0.4	▲0.2	▲0.2
前年同月比	▲0.3	▲0.1	0.3	▲4.9	0.0	▲1.0	▲0.4	▲0.4	1.2	0.1	0.5	▲0.4	▲0.2

(注)2015年=100

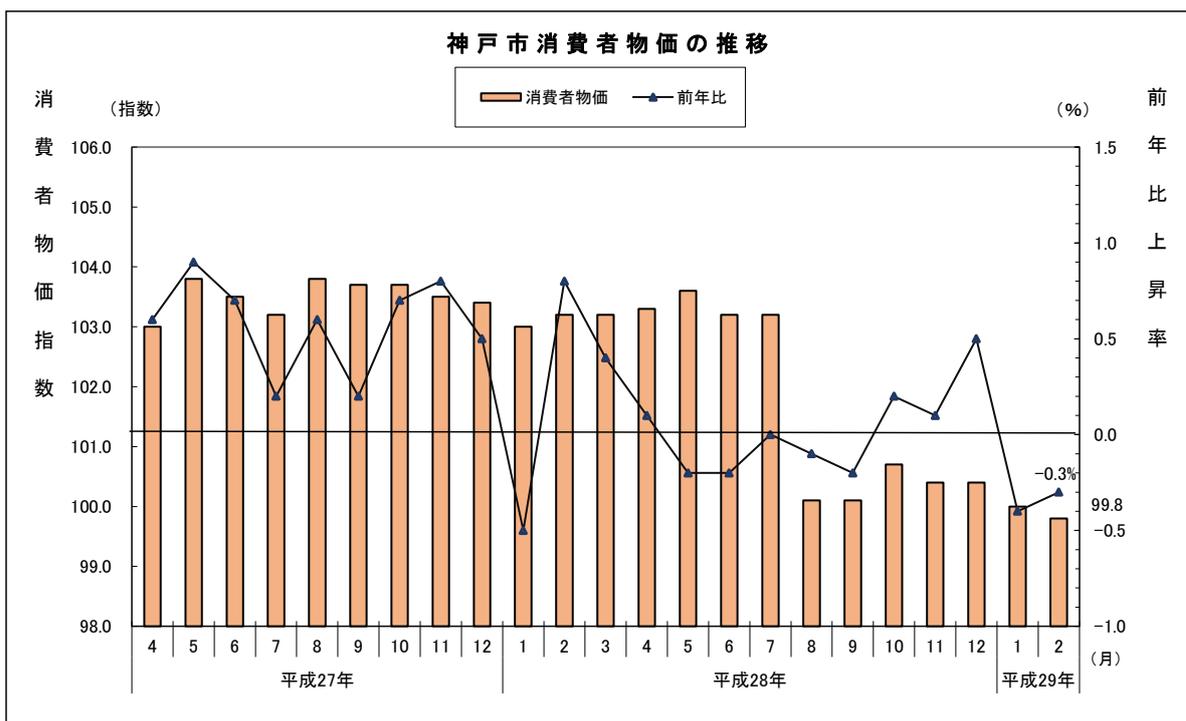
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- ガス代 (+ 1.1%)・・・都市ガス代
- 身の回り用品 (+ 2.5%)・・・通学用かばん、旅行用かばん

○対前月比値下がりした主な品目

- 野菜・海藻 (▲ 4.7%)・・・生しいたけ、ねぎ
- 設備修繕・維持 (▲ 3.0%)・・・給湯機、外壁塗装費



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が3月13日に発表した、企業物価指数(速報)による2017年2月の企業物価指数は次のとおり。

2月の企業物価指数 (速報、2010年=100)

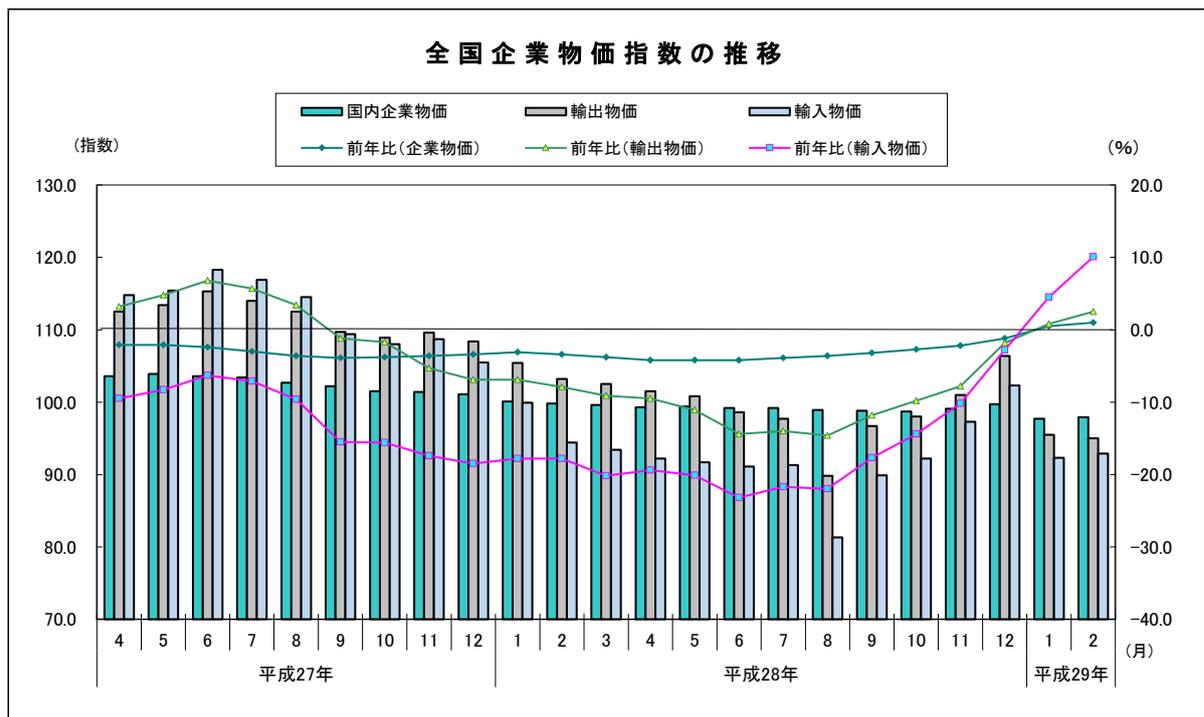
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	97.9	0.2	1.0
輸 出 物 価	95.0	▲ 0.5	2.5
輸 入 物 価	92.9	0.7	10.1

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、化学製品（前月比1.1%増<合成ゴムなど>）、電力・都市ガス・水道（同1.1%増<産業用特別高圧電力など>）、鉄鋼（同0.6%増<鉄鋼切断品(薄板)など>）、農林水産物（同0.9%増<鶏卵など>）、非鉄金属（同1.1%増<銅地金など>）等が増加し、円ベースでは前月比0.2%の増加（前年同月比1.0%増加）となった。

輸出物価は、化学製品（前月比0.5%増<パラキシレンなど>）、金属・同製品（同0.2%増<金地金など>）等が増加したが、その他製品・製品（同0.1%減<軽油など>）、電気・電子機器（同0.5%減<モス型メモリ集積回路など>）、はん用・生産用・業務用機器（同0.8%減<半導体製造装置など>）、輸送用機器（同0.7%減<普通トラックなど>）等が減少し、円ベースでは前月比0.5%の減少（前年同月比2.5%増加）となった。

輸入物価は、その他製品・製品（前月比0.5%減<天然ゴムなど>）、飲食料品・食料用農水産物（同0.5%減<チーズなど>）、電気・電子機器（同0.8%減<モス型メモリ集積回路など>）、化学製品（同0.4%減<飽和ポリエステル樹脂など>）、輸送用機器（同0.5%減<普通乗用車(ガソリン車)など>）等が減少したが、石油・石炭・天然ガス（同4.2%増<原料炭など>）、金属・同製品（同0.9%増<鉄鉱石など>）が増加し、円ベースでは前月比0.7%の増加（前年同月比10.1%の増加）となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内1月の新規求人数(全数)は、38,166人(前年同月比4.5%増)で、16か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は93,711人(同8.6%増)で81か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比7.1%増で3か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同3.9%増で13か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同13.4%減で3か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比22.7%増)、製造業(同13.8%増)、学術研究,専門術サービス業(同16.5%増)、宿泊業,飲食サービス業(同11.0%増)、生活関連サービス業,娯楽業(同10.7%増)、医療,福祉(同1.0%増)で前年度を上回ったが、運輸業,郵便業(同8.3%減)、卸売,小売業(同2.5%減)、サービス業(同2.7%減)で前年を下回った。

(2) 求職状況

1月の新規求職申込件数(全数)は19,022件(前年同月比2.3%減)で5か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、70,801人(同4.1%減)で80か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比5.4%減で5か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.5%増で2か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比8.3%減で2か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比2.8%減で2か月ぶりに前年を下回り、事業主都合離職者は同8.8%減で13か月連続、自己都合離職者は同6.0%減で14か月連続して前年を下回り、自営・他は同2.5%増で5か月ぶりに前年を上回った。無業者は同7.7%減で61か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、17,698人(前年同月比7.3%減)で48か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

1月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.86倍(前月比0.05ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については1.20倍で前月と同水準であった。

(4) 失業者の状況

1月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.0%、完全失業者数(原数値)は197万人(前年同月比14万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は2.8%(前年同月比0.5ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は30万人(前年同月比5万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
29年1月	38,166	2,536	4,828	365	1,772	4,801	167	868	953	3,853	1,395	10,141	4,362
前年同月比	4.5	22.7	13.8	29.0	▲8.3	▲2.5	▲5.6	22.6	16.5	11.0	10.7	1.0	▲2.7

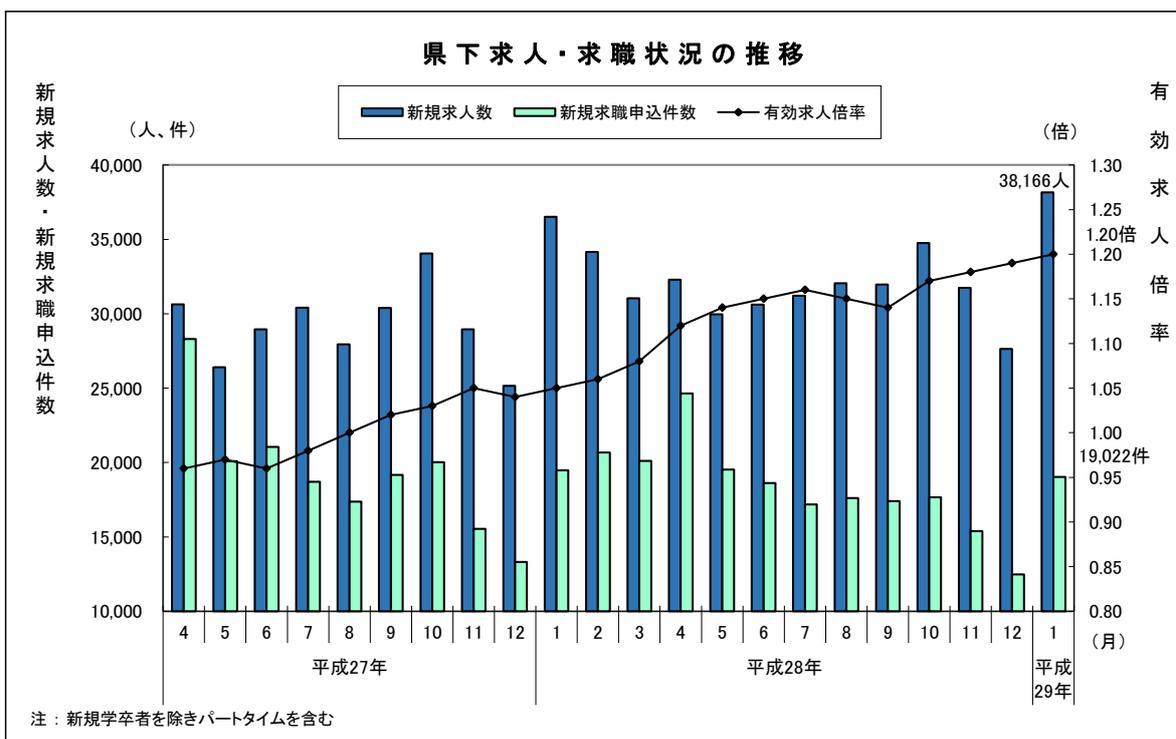
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	15/10-12	16/1-3	16/4-6	16/7-9	16/10-12	17/1
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	1.03	1.06	1.13	1.15	1.18	1.20
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.4	5.9	8.2	7.5	7.1	4.5
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	1.6	▲4.5	▲6.8	▲9.1	▲5.6	2.0
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.8	0.9	0.7	0.9	0.5	0.6
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	▲0.2	0.6	0.3	0.1	1.5	2.1

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



【信用保証】

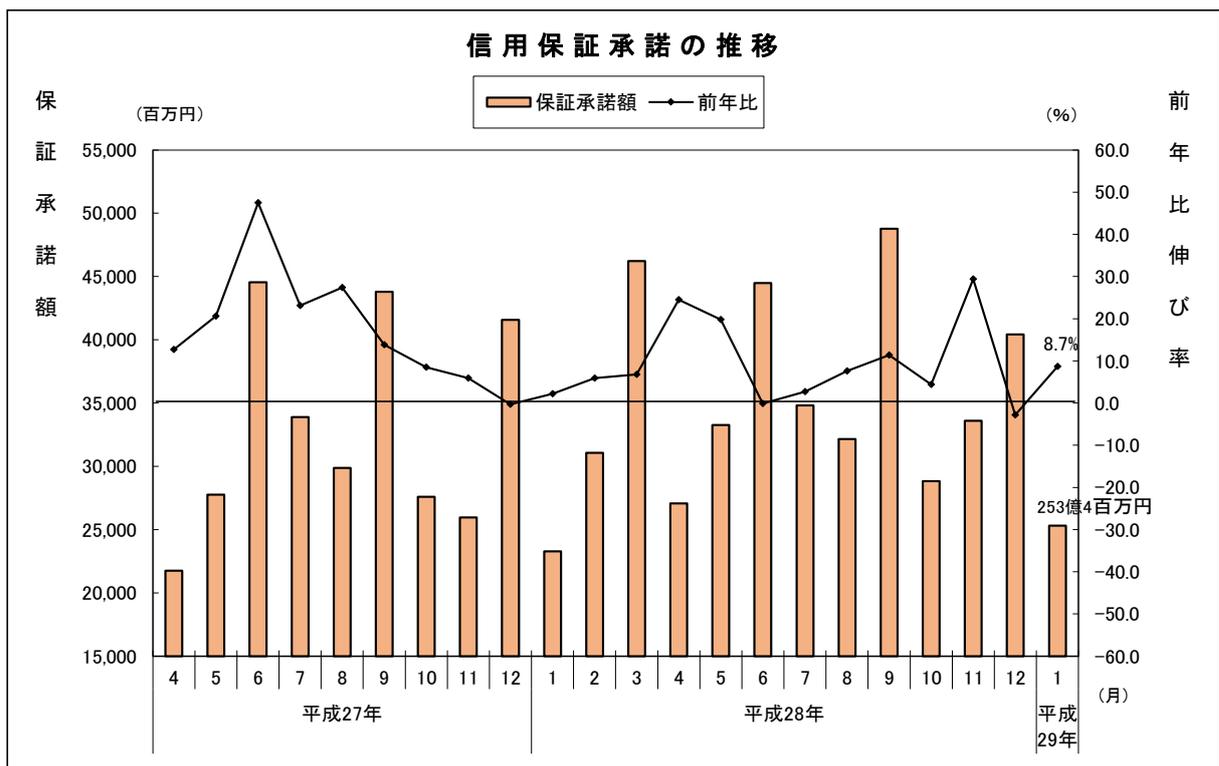
兵庫県信用保証協会による1月の保証承諾実績は、件数で1,520件(前年同月比5.7%増)、金額は253億4百万円(同8.7%増)となり、前年同月実績と比べ、件数、金額ともに上回った。

資金使途別では、運転資金23,608百万円(前年同月比11.6%増)、設備資金618百万円(同10.6%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,146百万円(前年同月比47.1%増)、「製造業」4,811百万円(同36.5%増)、「サービス業」4,195百万円(同31.6%増)、「建設業」6,594百万円(同2.1%増)等で前年同月を上回り、「小売業」2,547百万円(同2.1%減)、「卸売業」4,161百万円(同4.7%減)、「飲食店」569百万円(同24.7%減)、「運送・倉庫業」955百万円(同29.7%減)等で前年同月を下回った。

1月末の保証債務残高は、92,185件(前年同月比3.3%減)、1兆746億73百万円(同0.1%減)となった。

一方、同月の代位弁済は、122件(前年同月比34.6%増)、17億20百万円(同104.1%増)となった。



【金融】

1月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

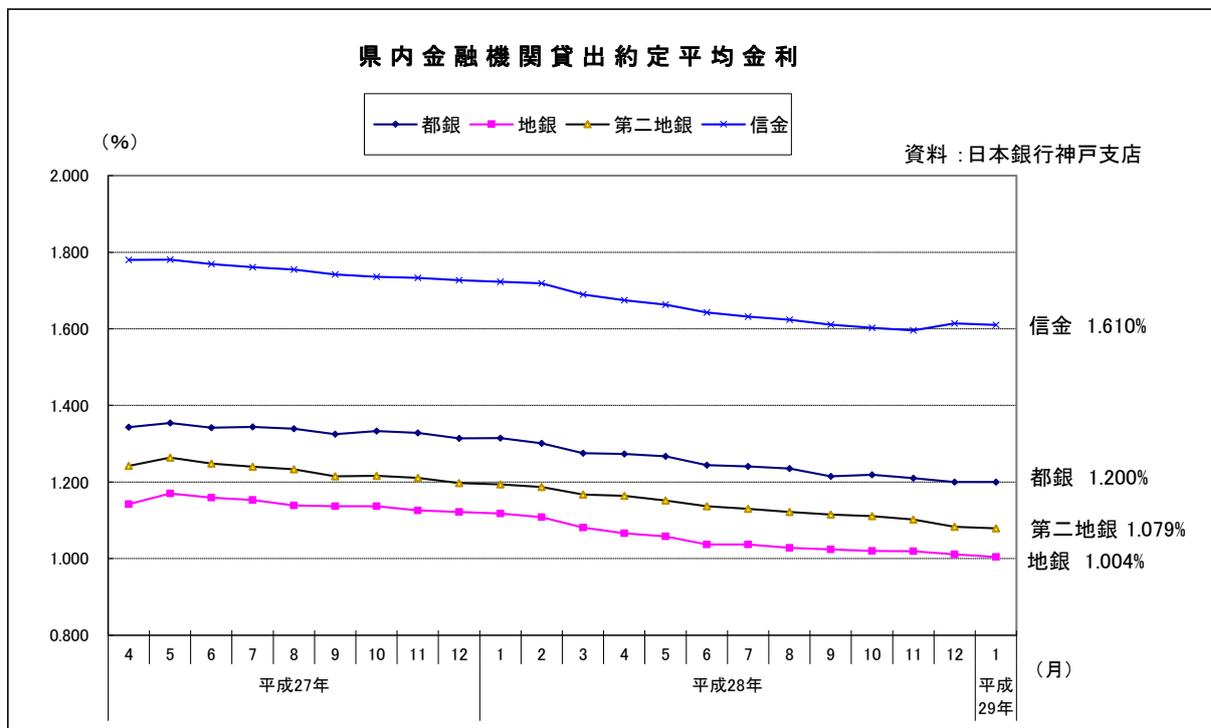
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	160,497	4.3	52,391	▲ 1.2
地方銀行	27,317	1.9	26,045	6.6
第二地方銀行	34,296	1.3	22,912	2.4
信用金庫	85,050	1.7	39,430	1.8
その他	17,849	1.5	17,407	▲ 0.5
計	325,009	2.9	158,185	1.4

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

1月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比 2.9%増)

1月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比 1.4%増)

1月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準 1.289%、前月比 ▲0.004%ポイント)。



【倒 産】

県内2月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は30件で前月比2件（7.14%）の増加、前年同月比8件（21.05%）の減少となり、負債総額は37億28百万円で前月比23億56百万円（171.72%）の増加、前年同月比10億82百万円（40.89%）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が23件（全体の76.7%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が7件（前年同月比5件減少）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が20件発生し、全体の66.6%を占めた。

2017年2月の倒産件数は、前年同月を下回り、このペースを辿ると年度累計倒産件数は前年度を下回る公算が強い。

倒産件数のみに着目すると、バブル経済期当時に並ぶ低い水準ながら、実感する景況感是好材料に乏しいのが実情、販売不振に喘ぐ中小・零細企業の経営破たんが散発している現況が見られる。このなか、3月3日に関西地盤の地銀3行の経営統合、基本合意が正式に発表され、その影響が中長期的には地域経済に与えられるが、現時点では未知数の状況。年度末から新年初めにかけて今しばらくは、これまでと同様に小規模な倒産が続く状況と見られる。

2月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	3	0	1	2	建設業	6	3	3	7	▲1
過小資本	2	1	1	1	1	製造業	1	3	▲2	3	▲2
連鎖倒産	2	2	0	1	1	卸売業	6	4	2	5	1
赤字累積	5	2	3	2	3	小売業	7	3	4	6	1
販売不振	18	20	▲2	33	▲15	情報通信業	0	1	▲1	0	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	7	11	▲4	12	▲5
その他	0	0	0	0	0	不動産・運輸業他	3	3	0	5	▲2
合計	30	28	2	38	▲8	合計	30	28	2	38	▲8

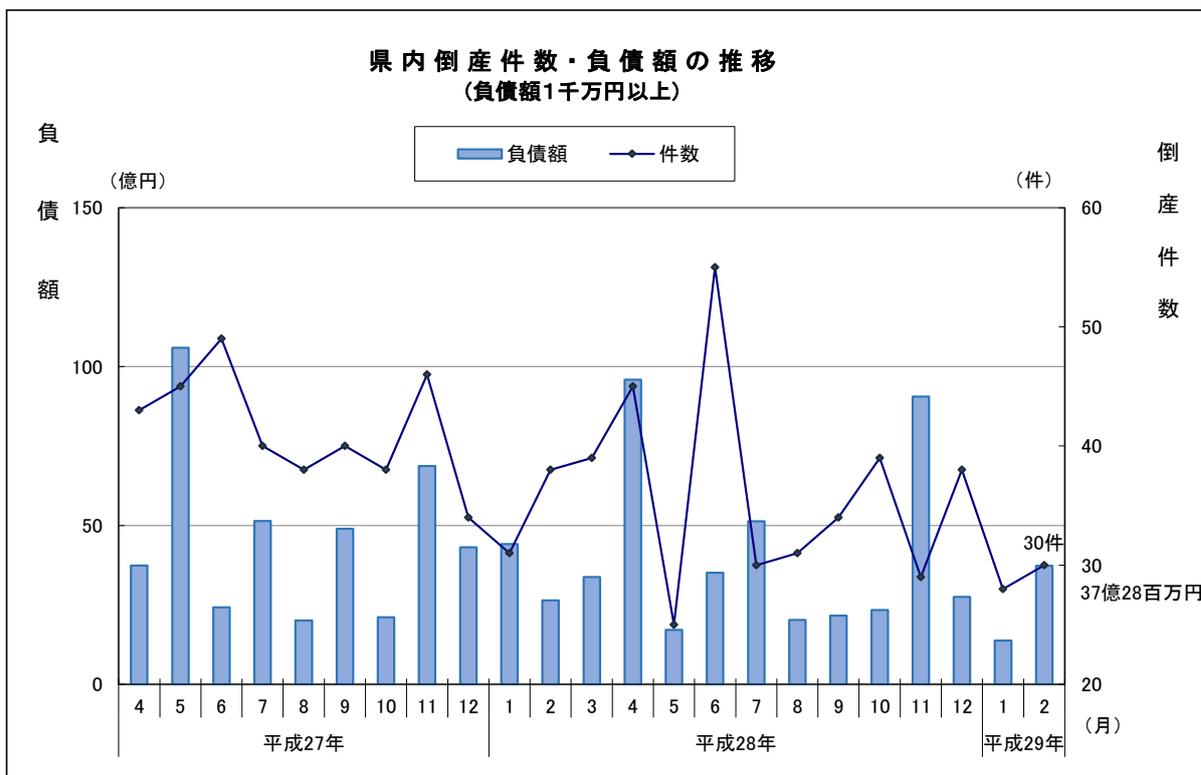
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額 1,000 万円以上）

（単位：件数）

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 1月	31	11	9	5	5	0	0	1
28年 2月	38	14	11	5	6	0	1	1
28年 3月	39	10	17	6	4	0	1	1
28年 4月	45	17	14	7	6	1	0	0
28年 5月	25	10	8	1	3	2	0	1
28年 6月	55	18	18	8	7	3	1	0
28年 7月	30	13	11	5	1	0	0	0
28年 8月	31	11	12	2	4	1	0	1
28年 9月	34	12	11	3	7	0	1	0
28年 10月	39	17	10	4	8	0	0	0
28年 11月	29	6	11	4	4	1	2	1
28年 12月	38	15	12	4	4	2	0	1
29年 1月	28	8	9	7	4	0	0	0
29年 2月	30	14	9	2	3	1	1	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)
27年 1月	107.8	7.6	102.4	3.7	185	17.8	0.9	1,830	△ 26.9	△ 13.0
2月	103.0	△ 4.5	98.9	△ 3.1	171	△ 11.6	1.0	2,308	△ 17.2	△ 3.1
3月	110.3	6.8	98.1	△ 0.8	253	△ 4.1	△ 0.3	2,898	13.9	0.7
4月	99.4	△ 10.0	99.3	1.2	531	△ 4.1	4.4	2,364	△ 13.1	0.4
5月	101.5	1.5	97.2	△ 2.1	286	△ 13.5	△ 3.4	2,985	19.8	5.8
6月	95.4	△ 5.9	98.3	1.1	347	1.5	△ 2.9	3,667	25.6	16.3
7月	98.9	2.5	97.5	△ 0.8	324	△ 13.6	△ 4.7	2,450	18.5	7.4
8月	97.5	△ 2.2	96.3	△ 1.2	248	6.8	△ 4.2	3,540	△ 15.0	8.8
9月	96.7	△ 1.6	97.4	1.1	330	△ 8.9	△ 5.3	2,292	△ 22.3	2.6
10月	95.1	△ 2.0	98.8	1.4	327	△ 4.9	△ 5.2	2,713	△ 13.7	△ 2.5
11月	98.9	4.0	97.9	△ 0.9	239	17.2	△ 4.6	3,191	△ 2.3	1.7
12月	94.3	△ 5.3	96.2	△ 1.7	293	21.7	△ 4.9	2,458	△ 11.1	△ 1.3
28年 1月	97.7	3.6	99.8	3.7	120	△ 35.1	△ 4.8	3,110	6.9	0.2
2月	101.7	3.6	93.2	△ 5.2	348	103.5	△ 4.7	2,158	△ 30.6	7.8
3月	99.5	△ 2.1	96.7	3.8	247	△ 2.0	△ 2.1	3,053	41.5	8.4
4月	100.2	0.5	97.2	0.5	655	23.3	10.6	3,019	27.7	9.0
5月	96.3	△ 4.7	94.7	△ 2.6	283	△ 1.2	1.4	2,218	△ 25.7	9.8
6月	101.3	5.2	96.9	2.3	451	29.9	△ 1.8	2,885	△ 21.3	△ 2.5
7月	96.6	△ 4.6	96.5	△ 0.4	288	△ 11.0	△ 6.9	3,032	23.8	8.9
8月	97.9	2.6	97.8	1.3	323	30.1	12.0	2,828	△ 20.1	2.5
9月	104.5	6.7	98.4	0.6	395	19.6	18.1	3,237	41.2	10.0
10月	97.2	△ 6.9	98.4	0.0	341	4.2	△ 10.0	2,810	3.6	13.7
11月	96.1	△ 0.9	99.9	1.5	167	△ 30.1	△ 5.7	3,004	△ 5.9	6.7
12月	99.4	3.4	100.6	0.7	198	△ 32.2	5.3	2,870	16.8	3.9
29年 1月	94.0	△ 4.9	100.2	△ 0.4	168	40.1	7.1	3,297	6.0	12.8
2月					151	△ 56.4	10.4			
3月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
27年 1月	14,292	△ 16.2	△ 20.7	172	△ 3.6	△ 0.4	4,304	21.4	2,934	△ 1.7
2月	17,426	△ 13.2	△ 15.8	139	△ 1.3	△ 17.7	4,145	△ 6.7	2,744	30.1
3月	21,773	△ 15.4	△ 11.9	171	△ 21.3	△ 17.7	5,185	6.9	2,658	0.6
4月	10,209	△ 4.9	△ 10.1	145	11.6	13.7	4,939	8.2	2,816	8.1
5月	11,397	△ 0.6	△ 8.2	153	5.7	6.3	4,376	1.0	2,560	△ 1.7
6月	14,318	△ 0.1	△ 3.8	149	△ 2.8	0.4	4,652	2.9	2,799	9.9
7月	13,853	△ 7.4	△ 9.1	177	3.5	0.4	4,928	6.9	2,873	8.0
8月	10,798	△ 0.5	△ 3.5	143	4.1	2.7	4,332	△ 3.7	2,627	6.8
9月	15,892	△ 9.8	△ 7.4	140	2.9	1.9	4,517	0.9	2,672	0.2
10月	12,686	△ 1.1	△ 4.0	155	2.9	4.2	4,843	△ 3.9	2,752	△ 2.7
11月	12,871	△ 3.6	△ 7.6	164	△ 4.4	△ 2.6	4,295	△ 5.7	2,625	△ 0.5
12月	12,131	△ 16.7	△ 14.6	233	△ 1.3	0.3	4,991	△ 8.0	2,586	△ 3.0
28年 1月	13,623	△ 4.7	△ 4.4	167	△ 2.9	△ 1.5	3,677	△ 14.6	2,688	△ 9.2
2月	15,837	△ 9.1	△ 7.5	138	△ 1.0	0.5	4,326	4.4	2,383	△ 13.2
3月	20,638	△ 5.2	△ 9.3	161	△ 5.9	△ 2.8	4,863	△ 6.2	2,551	△ 4.2
4月	11,125	9.0	2.2	141	△ 2.4	△ 3.6	4,466	△ 9.6	2,362	△ 16.1
5月	11,207	△ 1.7	△ 1.4	147	△ 3.7	△ 4.8	3,697	△ 15.5	2,410	△ 6.0
6月	13,684	△ 4.4	△ 5.6	144	△ 3.2	△ 3.6	4,484	△ 3.6	2,382	△ 14.9
7月	13,775	△ 0.6	△ 2.2	177	0.0	△ 0.2	4,203	△ 14.6	2,278	△ 20.7
8月	10,542	△ 2.4	2.9	134	△ 6.3	△ 3.6	3,918	△ 9.6	2,322	△ 11.6
9月	15,540	△ 2.2	△ 0.7	131	△ 6.7	△ 3.2	4,165	△ 7.8	2,332	△ 12.8
10月	12,801	0.9	△ 0.2	149	△ 3.7	△ 1.0	4,098	△ 15.4	2,208	△ 19.7
11月	13,901	8.0	8.8	156	△ 5.1	△ 0.3	4,262	△ 0.8	2,572	△ 2.0
12月	13,667	12.7	8.1	229	△ 1.6	△ 1.3	4,926	△ 1.3	2,495	△ 3.6
29年 1月	13,816	1.4	4.4	162	△ 3.0	△ 1.1	3,457	△ 6.0	2,748	3.0
2月	17,070	7.8	8.2	132	△ 4.1		4,820	11.4	2,194	△ 8.0
3月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)	神戸市		全国	
							指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
27年 1月	0.95	1.14	1,032	△ 0.2	96.8	△ 0.1	102.3	2.3	103.3	2.4
2月	0.94	1.15	1,040	0.0	96.0	△ 0.9	102.4	△ 0.1	103.1	2.4
3月	0.95	1.15	1,032	△ 0.7	96.9	0.4	102.9	2.0	103.3	2.3
4月	0.96	1.17	1,053	0.4	98.4	0.0	103.2	0.6	103.7	0.6
5月	0.97	1.19	1,055	0.5	96.4	△ 1.3	103.8	0.9	104.0	0.5
6月	0.96	1.19	1,045	0.5	97.6	△ 0.5	103.5	0.7	103.8	0.4
7月	0.98	1.21	1,055	0.6	97.4	0.3	103.2	0.2	103.7	0.2
8月	1.00	1.23	1,052	0.4	97.5	△ 0.1	103.8	0.6	103.9	0.2
9月	1.02	1.24	1,052	0.7	97.7	1.3	103.7	0.2	103.9	0.0
10月	1.03	1.24	1,024	0.9	97.6	0.3	103.8	0.7	103.9	0.3
11月	1.05	1.25	1,057	0.8	97.9	0.8	103.5	△ 0.3	103.5	0.3
12月	1.06	1.27	1,057	1.1	97.9	0.7	103.4	△ 0.1	103.0	0.0
28年 1月	1.05	1.28	1,052	1.0	97.2	0.4	103.0	△ 0.5	103.2	0.3
2月	1.06	1.28	1,048	0.8	97.8	1.9	103.2	0.8	103.2	0.3
3月	1.08	1.30	1,042	1.0	99.4	2.6	103.2	0.4	103.3	△ 0.1
4月	1.12	1.34	1,059	0.5	99.4	1.0	103.3	0.1	103.4	△ 0.3
5月	1.14	1.36	1,061	0.5	98.5	2.2	103.6	△ 0.2	103.6	△ 0.4
6月	1.15	1.37	1,063	0.8	98.2	0.6	103.2	△ 0.2	103.3	△ 0.4
7月	1.16	1.37	1,060	0.5	98.9	1.5	103.2	0.0	99.6	△ 0.4
8月	1.15	1.37	1,057	0.5	98.4	1.5	100.1	△ 0.1	99.7	△ 0.5
9月	1.14	1.38	1,055	0.3	98.9	1.2	100.1	△ 0.2	99.8	△ 0.5
10月	1.17	1.40	1,053	0.0	98.6	1.0	100.7	0.2	100.4	0.1
11月	1.18	1.41	1,053	△ 0.4	99.9	2.0	100.6	△ 0.1	100.4	0.5
12月	1.19	1.43	1,051	△ 0.6	99.6	1.7	100.4	0.2	100.1	△ 0.2
29年 1月	1.20	1.43	1,051	0.0	101.3	1.4	100.0	△ 0.4	100.0	0.4
2月							99.8	△ 0.3		
3月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国 指数	前年比 (%)	金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)	全国銀行 (年%)	倒産 件数 (件)	負債 総額 (億円)	地域別倒産件数		
								神戸 (件)	阪神 (件)	播磨他 (件)
27年 1月	103.3	0.3	154,351	1.3	1.179	33	33	14	10	9
2月	103.3	0.5	154,880	1.7	1.173	40	42	12	15	13
3月	103.5	0.7	158,666	2.1	1.158	53	65	14	23	16
4月	103.6	△ 2.1	155,375	2.0	1.157	43	37	15	13	15
5月	103.9	△ 2.1	154,428	0.7	1.153	45	105	16	11	18
6月	103.6	△ 2.4	154,717	1.3	1.141	49	24	21	16	12
7月	103.4	△ 3.0	154,763	1.5	1.137	40	51	17	7	16
8月	102.7	△ 3.6	154,623	1.1	1.135	38	20	18	7	13
9月	102.2	△ 3.9	156,038	1.5	1.125	40	48	14	12	14
10月	101.5	△ 3.8	155,425	1.5	1.125	38	21	15	10	13
11月	101.4	△ 3.6	155,242	1.2	1.121	46	68	22	9	15
12月	101.1	△ 3.4	156,968	1.3	1.110	34	43	13	9	21
28年 1月	100.1	△ 3.1	156,038	1.1	1.108	31	44	11	9	11
2月	99.8	△ 3.4	155,727	0.5	1.098	38	26	14	11	13
3月	99.6	△ 3.8	161,190	1.6	1.076	39	33	10	17	12
4月	99.3	△ 4.2	156,431	0.7	1.066	45	95	17	14	14
5月	99.4	△ 4.2	155,843	0.9	1.054	25	17	10	8	7
6月	99.2	△ 4.2	156,758	1.3	1.039	55	35	18	18	19
7月	99.2	△ 3.9	157,441	1.7	1.033	30	51	13	11	6
8月	98.9	△ 3.6	156,920	1.5	1.026	31	20	11	12	8
9月	98.8	△ 3.2	158,317	1.5	1.016	34	21	12	11	11
10月	98.7	△ 2.7	157,271	1.2	1.014	39	23	17	10	12
11月	99.1	△ 2.2	157,889	1.7	1.009	29	90	6	11	12
12月	99.7	△ 1.2	159,432	1.6	0.998	38	27	15	12	11
29年 1月	97.7	0.5	158,185	1.4	0.996	28	13	8	9	11
2月	97.9	1.0				30	37	14	9	7
3月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値